



たかはし浩司 町政活動報告

第11号

令和6年2月

発行者/たかはし浩司後援会 〒515-0317 多気郡明和町大字池村1011番地
TEL0596-52-7707 FAX0596-52-6930 <https://www.kouzi-takahashi.com> takahashi@cks-fss.jp

たかはし浩司
ホームページ



Facebook



Instagram



後援会
ご入会申込



大寒の候、まだまだ
寒さが続くようです
ので、くれぐれもお体
にはご自愛ください。
元旦に発生した能
登半島地震により、
多くの尊い命が失わ
れ、甚大な被害が発
生しました。心より
お亡くなりになられ
た方々のご冥福を、
そして被災された皆
様の日も早い復興を
お祈り申し上げます。
たかはし浩司はこ
れまで『防災・減災
に取り組んでまいり
ましたが、災害はいっ
どこで発生するかわ
からないことを改め
て心に刻み、引き続
き活動を進めてま
います。
本年も昨年同様変
わらぬご支援を賜り
ますよう、お願い申
し上げます。
今回の活動報告で
は、令和5年9月と
12月の議会定例会お
よび、その間の町政に
ついて報告いたしま
す。
たかはし浩司後援会長
渡邊 裕

令和5年9月の議会定例会は、一般会計などの補正予算や町道大淀役場坂本線の道路排水施設等工事の請負契約など議案の8件が可決されました。また決算特別委員会では、令和4年度決算が認定されました。

令和5年12月は、一般会計や特別会計の補正予算、固定資産税評価委員の任命同意、職員の給与条例の一部改正、課設置条例の改正などの議案の15件が可決されました。

12月の定例会では、消防団の団員確保と適正な組織再編、伊勢麻振興プロジェクトの「町民の安全・安心」の確保と「地域振興」の両立についての一般質問を行いました。

1. 地域防災力について

①3年前の答弁では、消防団員が9名欠員があるとのことでした。その後の状況と団員確保の取り組みについて尋ね、入団を促進するためにも、団員の地位と権利を明確にし、誇りを持って活動できる環境づくりを求めました。

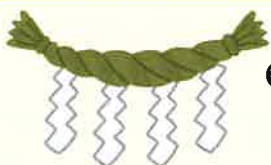
②消防団の条例定数から12名の欠員が出ており、これまでの団員募集活動の他に、LINEやYouTubeなどを活用した取り組み、イベントやケーブルTVでの入団促進を行っている。また、やりがいのある消防団活動、そして団員が安心して誇りをもって活動できるよう、地域や関係者とともに取り組んでいきたい。

③少子高齢化や地域間の年代・人口のバランスなどにより、消防団全体の再編と条例定数の見直しが必要と考えます。これに対する町の考えを問いました。また再編にあたっては、団員と住民の声に耳を傾け、地域の安全・安心を維持するために、適正な形で行うことを求めました。

④各地域の消防団員の意見もふくめて、また各地区の実情も踏まえながら、一方で地域の安全を守る貴重な担い手である消防団員を効果的に確保できるよう検討し、なるべく早期に定数を見直し、編成を進めたい。



2. 伊勢麻について



①伊勢麻振興プロジェクトの推進にあたっては、町民の理解が不可欠です。その上で「安全・安心な暮らし」と「地域振興」を両立させるよう、丁寧な説明と情報発信を行い、正しい理解を促すとともに、科学的根拠に基づく規制と、検査機関・体制の確立を求めました。

②明和町での大麻草の安全性を町民に周知する勉強会を3月に開催することを考えており、今後定期的に行ってきたい。また検査機関・体制については、また法改正により国・県の検査機関設けられるが、町としても県の栽培指針や検査体制のもと、三重大学などの指導を仰ぎながら取り組みを進めていきたい。



R5.7.29(土)
大淀祇園祭と花火大会



R5.8.30(水)
明和町からプロ野球の世界へ



R5.9.29(金)
第二十回いつきのみや観月会



R5.10.1(日)
修正集学校開校式・楽集祭

めいわトピックス

令和5年9月から12月の行政の主な動きや行事等を取り上げました



●● 生成AIを活用した「次世代役場」について ●●

高齢化と労働力不足の同時進行により発生するとされる「2040年問題」にいち早く対応し、職員数が減少しても町民サービスの質の向上を進める生成AIを活用した「次世代役場」が、町民の方々にとってプラスとなる仕組みづくりを求めています。

●● チョイソコめいひめについて ●●

「チョイソコめいひめ」の運行について利用者の方々のニーズに合わせるよう働きかけてきた結果、10月2日から8時30分～17時に時間延長され、土日も運行されることになりました。今後も「mobi」を含めて、町内の「デマンド交通の充実」に向けた取り組みを進めていきます。



(明和町HPより)



●● (仮称) 総合防災センターについて ●●

災害対策の拠点として(仮称)総合防災センターの整備に向けた検討が始まりました。町庁舎の一部機能のほか明和消防署も含めて進められる予定で、第1期再編小学校の事業計画も含めた全体的な土地利用計画として検討を進めるよう要望を行いました。

●● 子育て出産支援プロジェクト ●●

三重県の「みえ子ども・子育て応援総合補助金」を活用して、妊婦や18歳以下の子どもさんを対象にデマンド交通の無料チケットを配付する「乗り合いタクシーチケットで応援!子育て出産支援プロジェクト」が実施されました。



●● 物価高騰対応支援について ●●

国の物価高騰対応支援の臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯に1世帯7万円の給付と医療機関等への電気・ガス料金の支援、中小企業を対象とした機械装置等購入費補助や運送・交通事業者への燃料費高騰の支援がはじまりました。詳細は明和町商工会0596-52-5235へお尋ねください。



●● 総合防災訓練について ●●

10月29日、町の総合防災訓練が上御糸小学校を主会場に行われました。地震体験車による震度7体験や濃煙体験などのほか、消火器の使い方や応急担架の作成、応急手当などの訓練が行われました。また、国・県・町が連携した道路啓開訓練も行われ、大規模災害発生時の緊急道路の確保の手順が確認されました。



●● 公共浄化槽の整備計画について ●●

町が浄化槽の設置と維持管理を行う「公共浄化槽整備計画」は、令和6年度末に策定予定です。今年度は①浄化槽の選定、②事業費の検討、③事業体制の検討が進められており、来年度は条例や財政計画、事業スケジュールなどが作成されるとの報告があり、公共下水道と同等水準の公平・公正な整備と料金を求めています。



【令和6年能登半島地震災害義援金について】

明和町では義援金箱を役場玄関、社会福祉協議会、中央公民館、総合体育館、ふるさと会館に設置しています。



R5.10.9(月・祝)
TAME池×フェスティバル



R5.10.29(日)
道路啓開訓練
(イメージ:国交省SNSより)



親のお金は誰のもの
法定相続人



めいわまち巡りスタンプラリー